

ネイチャー・ウォーク

平成 29 年 5 月号

2017. 5. 28 発行

(通巻第 280・281 号)

ECO  SAITAMA 公益財団法人 埼玉県生態系保護協会

会 部 会 : 自然を歩く会

■先月のネイチャーウォーク

KKN41 と歩く 渡良瀬遊水地

(久喜・加須・ネイチャー・4月1日)

(JR 宇都宮線 古河駅～東武日光線 板倉東洋大前駅)

2017 年 3 月・4 月合併号のネイチャーウォークは、久喜支部と加須支部との豪華な共同開催！久喜支部の田中さんの案内のもと、渡良瀬遊水地を目指して歩きます。

あいにくの空模様でしたが、JR 宇都宮線「古河駅」に 12 名が集合し、出発です。



出発地点である古河は、田中正造 2 回目の葬儀が行われた場所だそうです。今回は渡良瀬遊水地と切っても切り離せない、田中正造の人物像なども分かる遊水地ふれあい旅歩きです。街中を歩いていくと、美しい花桃にも出会うことができました。



田中正造 2 回目の葬儀場所



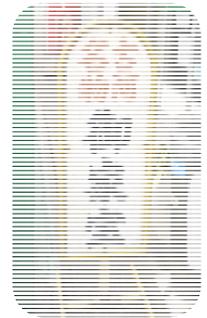
日光街道沿いに行く道で、ちょっとブレイク。その名の通り、日光にも通じるこちらの道は江戸初期の古河藩主、永井直勝^{ながい なおかつ}によって整備されました。（以下、茨城県古河市 HP より）また、江戸末期の藩主、土井利位^{とじら}は 20 年にわたり雪の結晶を研究し、「雪華^{せっか}」と名付けました。その研究成果である結晶のスケッチを収録した『雪華図説』は、日本最初の雪の自然科学書として高い評価を得ています。



街灯やマンホールなど、街のいたるところに雪の結晶をモチーフにしたものが見受けられました。地域の誇りの藩主であることがうかがえます。

古河名物、御家宝^{ごかほう}も発見！

きなこがまぶされている甘いお菓子です。名前の由来は諸説あるそうですが…おや、列を抜けて誰か御家宝を買いに行っていましたよ。（スタッフ N が買った御家宝の写真がどこかで出てきますので、探してみてくださいね！）



歩き進めていくと、違う形の鳥居が 3 つある「下宮八幡宮・牛頭天王社・稲荷神社」が見えてきました。

ここは渡良瀬遊水地に沈んでしまった谷中村のひとつの地区、下宮にあった三社が集う場所です。



古河駅から西に向かい、^{すずめじんじや}雀神社という歴史ある神社を通り抜けていくと、渡良瀬川の堤防上に出ました。

遊水地を遠くに眺められるそこには、「田中正造翁遺徳之賛碑」と題された顕彰碑が建っています。描かれているのは、田中正造が天皇に直訴し、それを応援する農民や咎める警官等です。田中正造がいかに人々から信頼されていたかが分かります。



さあ、お待ちかねの渡良瀬遊水地に到着です！

眼前に広がるヨシ焼きの跡を見て、歩いて、感じて、学んで。渡良瀬遊水地内には、谷中村の共同墓地であった延命院の跡地などがあります。かつてをしのばせる半鐘のレプリカや雷電神社跡、谷中村役場跡などなど、見どころがいっぱいあります。



三者共催で大充実の渡良瀬遊水地散策、いかがでしたでしょうか。その栄光のフィナーレを飾るのは、^{えびせだのもし}海老瀬頼母子の薬師堂の立派なシダレザクラです。花祭の頃に渡良瀬遊水地へお越しの際は、ぜひ写しきれない程の大きなシダレザクラもご覧ください！

それでは、次回のネイチャーウォークもどうぞお楽しみに！元気な姿でまたお会いしましょう！